

2021 年 12 月 23 日

【新刊発売のご案内】

博報堂生活総合研究所 設立 40 周年記念書籍

『博報堂生活総研のキラデータで語るリアル平成史』

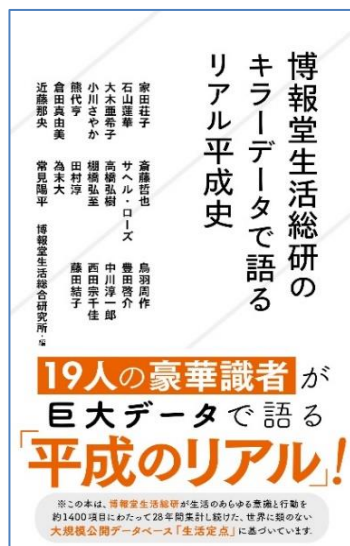
～19 人の豪華有識者が、生活総研の時系列調査「生活定点」で“平成”を斬る！～

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）のシンクタンク、博報堂生活総合研究所（所長：石寺修三 以下、生活総研）はこのたび、『博報堂生活総研のキラデータで語るリアル平成史』を出版しましたのでお知らせいたします。

本書は、生活総研が生活分野のあらゆる意識や行動、価値観など約 1,400 項目について、28 年間聴取し続けているオリジナルの生活者調査「生活定点」のデータを題材に、総勢 19 名にもおよぶ各界の有識者にご執筆いただいたものです。

食、遊び、働き、家族、交際、消費・お金など多岐にわたるデータから、生活者の視点に立ったリアルな平成史と、データが示す未来を読み解く一冊となっています。

読者の皆さまが本書を通じて、平成とはどんな時代であったのか、そしてどんな未来が訪れるのか、さまざまなデータと共に想いを馳せていただけたら幸いです。



著者(五十音順)

家田荘子 石山蓮華 大木亜希子 小川さやか 熊代亨 倉田真由美
近藤那央 斉藤哲也 サヘル・ローズ 高橋弘樹 棚橋弘至 田村淳
為末大 常見陽平 鳥羽周作 豊田啓介 中川淳一郎 西田宗千佳
藤田結子

編集：博報堂生活総合研究所

仕様：新書判 224 ページ

定価：1,188 円（税込）

発行：星海社

書店発売日：2021 年 12 月 23 日

[Amazon リンク](#)

【本件に関する問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 玉・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161

目次

- ・はじめに データは「答え」か？「問い」か？
- ・為末大 信じる理由を求める時代
- ・大木亜希子 あのマウンティング男に今、愛と感謝のキスを
- ・田村淳 いつも常識をアップデートしていきたい
- ・斎藤哲也 リベラル・アーツよ、どこへ行く？
- ・中川淳一郎 平成の人間関係を一変させたインターネット
- ・鳥羽周作 インターネットとコロナ禍が変えた、伝達 「届けきる」をどう実現するか
- ・高橋弘樹 恥ずかしさで逃げ出したくなる、「野菜の煮物」なき社会
- ・藤田結子 「女性の手作り＝愛情」はいつまで続く？
- ・棚橋弘至 プロレスに見る平成の考察
- ・倉田真由美 いくつになっても恋愛したい
- ・熊代亨 平成 30 年間の時代の変化とメンタルヘルス
- ・常見陽平 私たちは自由な働き方ができたのか
- ・豊田啓介 離散と流動
- ・石山蓮華 電線目線で折れ線を見る
- ・近藤那央 人の心をほぐし、繋げる“いきものらしいロボット”
- ・西田宗千佳 黄金期から苦難の時代、世界に翻弄された「ゲーム」というビジネス
- ・家田荘子 災害とスマートフォン、平成社会が心をどう変えたか？
- ・サヘル・ローズ 心に育む、豊かなアナタを
- ・小川さやか 苦手な人びと、親しくない人びとに贈り物をしよう

博報堂生活総合研究所

「生活者発想」をフィロソフィーとする博報堂グループのシンクタンクとして 1981 年に設立。人を消費者だけにとどまらない多面的で主体的な存在「生活者」として捉え、独自の視点と手法で研究を行っているシンクタンク。主な活動は、生活者の変化を長期にわたって追う時系列調査や、生活者と暮らしの未来洞察のほか、近年はデジタル空間上のビッグデータをエスノグラフィの視点で分析する「デジノグラフィ」も推進中。その成果を、書籍、発表イベントや web サイトを通じて広く社会に発信している。